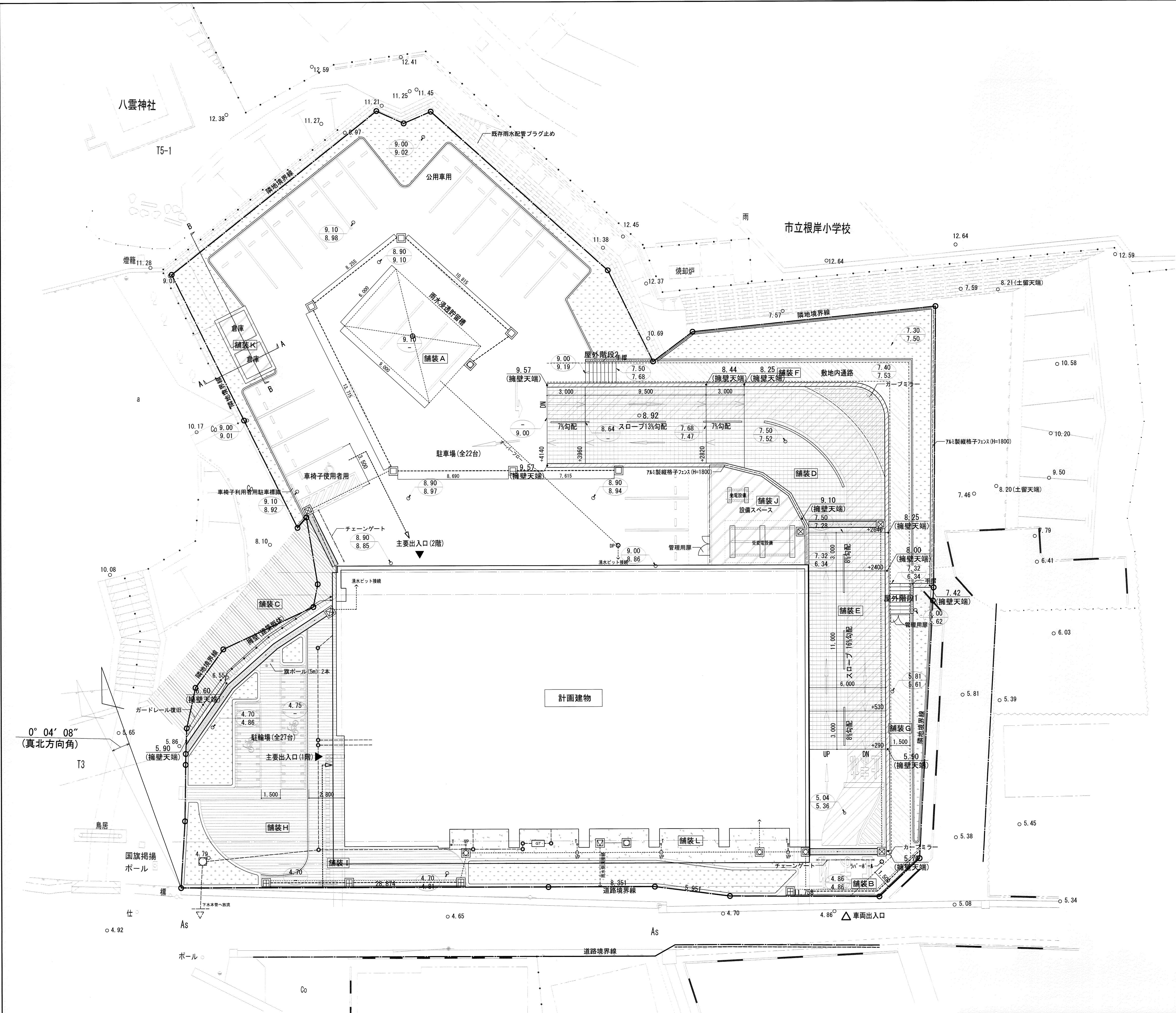


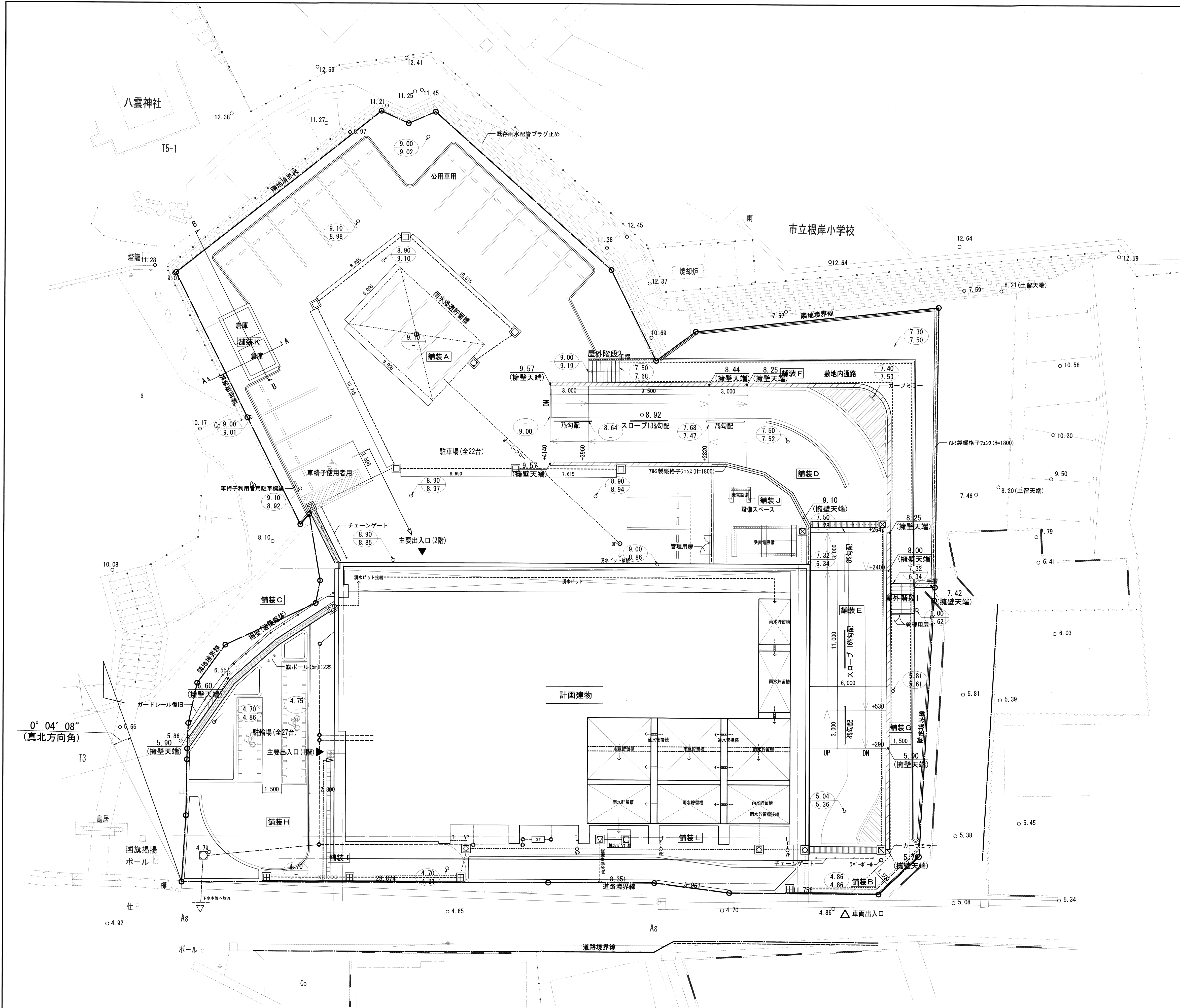


■ 外構計画凡例			
凡例	名称	仕様	備考
	歩車道境界ブロックA	150/170×200×600	
	小舗石	100×100×210	
	車止めブロック	一般車用(19台分)	
	駐車帯	白線 W=150	
	駐輪帯	白線 W=100	
	一時停止	停止線(W=400、L=4500)	
	路面標示		
	7mm製縦格子フェンス		
	管理扉	有効開口 W=1500	
	カーミラー		
	チェーンゲート		
	擁壁		
	階段手摺		
	旗ポール		
	ガードレール		
	スチールエッジ		
	視覚障害者用誘導ブロック		
	ウォーターマーク		

■ 外構舗装凡例			
凡例	名称	仕様	備考
	舗装(1)	カーアスファルト舗装	
	舗装(2)	真空コンクリート舗装	
	舗装(3)	透水性舗装	
	舗装(4)	インターロッキングブロック舗装	
	舗装(5)	コンクリート金ゴテ仕上	倉庫、設備基礎
	舗装(6)	玉砂利仕上	
	緑地	※A-203 緑地計画図参考	
	カラー着色	舗装上部にカラー塗料施工	

■ 舗装参考数量				
凡例	名称	仕様	参考数量(CAD計測)	小計
	舗装A	カーアスファルト舗装	796.48㎡	
	舗装B	カーアスファルト舗装	75.44㎡	871.92㎡
	舗装C	7mmアスファルト舗装(既存復旧工事)	81.61㎡	81.61㎡
	舗装D	真空コンクリート舗装	194.65㎡	
	舗装E	真空コンクリート舗装	103.82㎡	298.47㎡
	舗装F	透水性舗装	67.83㎡	
	舗装G	透水性舗装	35.97㎡	103.80㎡
	舗装H	インターロッキングブロック舗装	98.91㎡	
	舗装I	インターロッキングブロック舗装	84.91㎡	183.82㎡
	舗装J	コンクリート金ゴテ仕上	50.00㎡	
	舗装K	コンクリート金ゴテ仕上	14.87㎡	64.87㎡
	舗装L	玉砂利仕上	67.66㎡	67.66㎡
	緑地	※A-203 緑地計画図参考	285.80㎡	285.80㎡

■ 雨水排水リスト			
凡例	名称	仕様	備考
	雨水樹(1)	スチール製グレーチング	
	雨水樹(2)	スリット溝蓋	
	雨水樹(3)	マンホール蓋	浸透貯留槽、排水ポンプ槽
	雨水樹(4)	コンクリート蓋	
	浸透樹	コンクリート蓋	樹3型
	放流樹	コンクリート蓋	既存雨水側溝接続
	VP樹(1)	塩ビ樹	
	VP樹(2)	ドロッツ樹	
	水位点検管	φ200	
	U字型側溝(1)	スチール製グレーチング	
	U字型側溝(2)	スリット溝蓋	
	暗渠(1)	浸透トレンチ	T3型
	暗渠(2)	VP管	
	雨水浸透貯留槽	※A-205図参考	



■ 計画方針

計画敷地は最大4.5m程度の高低差がある敷地である。2階レベルの地盤については雨水浸透槽にて対応し、オーバーフローを計画建物ビット内の雨水貯留槽へと接続する。雨水貯留槽からは排水ポンプにて放流槽へと接続し、既存雨水樹へと放流する計画とする。

雨水浸透槽の施設規模は、2階レベルの地盤面を対象面積として算定することで2階レベル地盤面で発生する雨水については、浸透対応可能な施設計画とする。

計画敷地全体の雨水貯留槽の施設規模については、雨水浸透槽と雨水貯留槽を合計した抑制量が、敷地全体を対象面積として算定した必要対策量を満足する施設規模とする。

■ 条件算定(計画地全体)

1. 面積
対象区域(A1) : 2806.40㎡(0.280640ha)
浸透舗装(A2) : 103.80㎡(0.010380ha)
緑地・砂利(A3) : 285.80㎡(0.028580ha)

2. 必要対策量
対策量(Vo) : 500㎡/ha
必要対策量(V1) : 140.3200㎡

【減免措置】
浸透舗装の流出係数(C1) : 0.4
緑地・砂利の流出係数(C2) : 0.2
透水性舗装における浸透量に相当する貯留量(Vf1) : 3.1140㎡
緑地等における浸透量に相当する貯留量(Vf2) : 11.4320㎡
浸透量に相当する貯留量計(Vf) : 14.54600㎡
減免措置をした必要対策量(V2) : 125.77400㎡

■ 計算式(計画地全体)

・必要対策雨量(V1)
 $V1 = Vo \times A1 = 500 \times 0.28064 = 140.32000\text{㎡}$

・浸透舗装・緑地等における浸透量に相当する貯留量(Vf)
 $Vf = Vf1 + Vf2$
 $Vf1 = Vo \times (1.0 - C1) \times A2 = 500 \times (1.0 - 0.4) \times 0.010380 = 3.1140\text{㎡}$
 $Vf2 = Vo \times (1.0 - C2) \times A3 = 500 \times (1.0 - 0.2) \times 0.028580 = 11.4320\text{㎡}$

・減免措置をした必要対策雨量(V2)
 $V2 = V1 - Vf = 140.32000 - 17.51330 = 125.77400\text{㎡}$

□ 条件算定(2階レベル地盤面)

1. 面積
対象区域(a1) : 861.35㎡(0.086135ha)
浸透舗装(a2) : 0.00㎡(0.000000ha)
緑地・砂利(a3) : 104.41㎡(0.010441ha)

2. 必要対策量
対策量(vo) : 500㎡/ha
必要対策量(v1) : 43.06750㎡

【減免措置】
浸透舗装の流出係数(C1) : 0.4
緑地・砂利の流出係数(C2) : 0.2
透水性舗装における浸透量に相当する貯留量(vf1) : 0.0000㎡
緑地等における浸透量に相当する貯留量(vf2) : 4.1764㎡
浸透量に相当する貯留量計(vf) : 4.17640㎡
減免措置をした必要対策量(v2) : 38.89110㎡

□ 計算式(2階レベル地盤面)

・必要対策雨量(v1)
 $v1 = vo \times a1 = 500 \times 0.086135 = 43.06750\text{㎡}$

・浸透舗装・緑地等における浸透量に相当する貯留量(vf)
 $vf = vf1 + vf2$
 $vf1 = 0.0000\text{㎡}$
 $vf2 = vo \times (1.0 - C2) \times a3 = 500 \times (1.0 - 0.2) \times 0.010441 = 4.1764\text{㎡}$

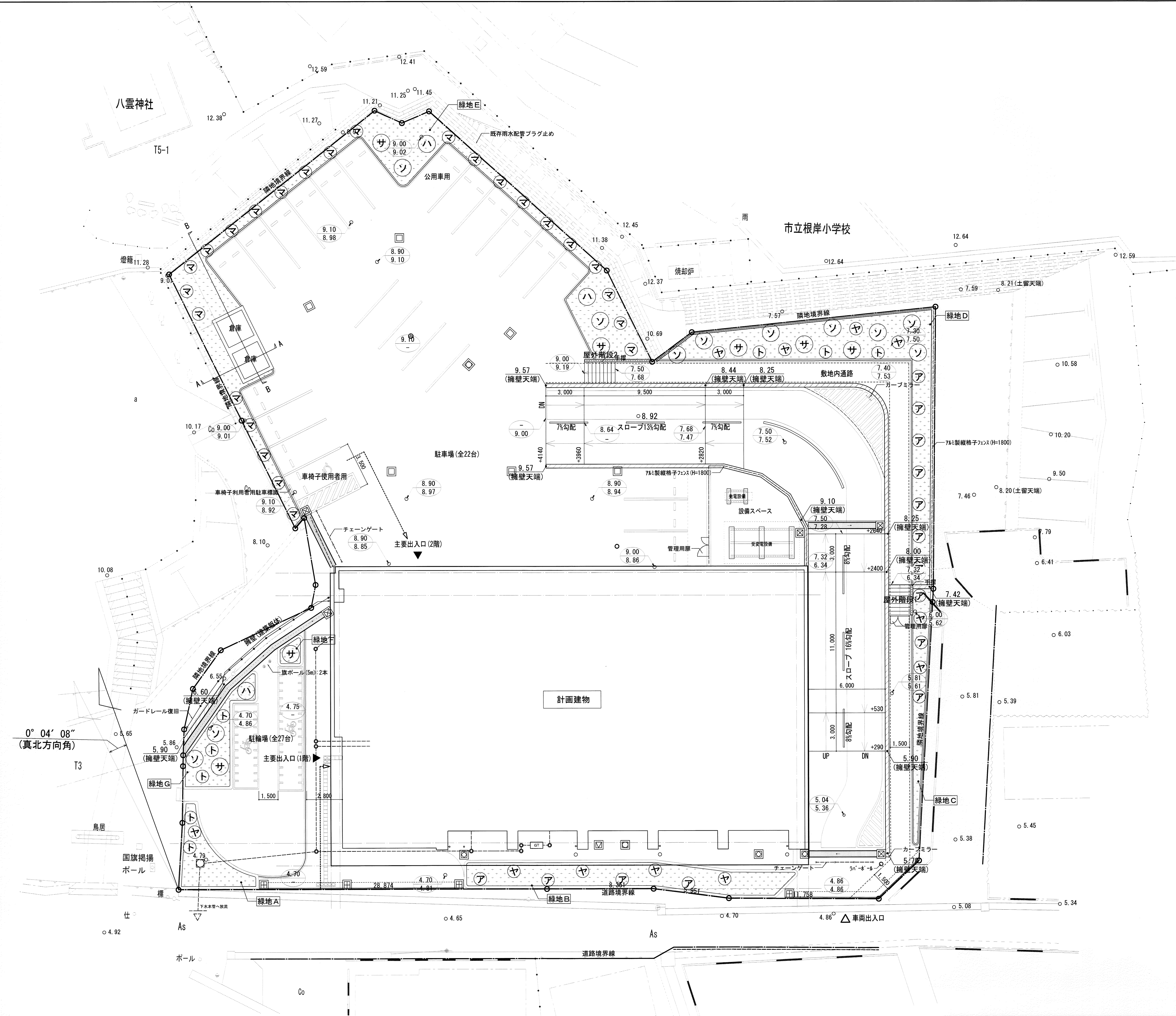
・減免措置をした必要対策雨量(v2)
 $v2 = v1 - vf = 43.0675 - 4.1764 = 38.89110\text{㎡}$

○ 雨水流出抑制量計算

【雨水貯留施設】
雨水流出抑制量 = 雨水貯留槽(面積×水深)
= 140.27㎡(面積合計) × 0.800(m)
= 112.216㎡ …①

【雨水浸透施設】
・雨水浸透貯留槽 = 49.248㎡(計算式:A-207図記載) …② > v2

【判定】
雨水流出抑制量 = ① + ② = 161.46400㎡ > 125.77400㎡ …OK



■ 条件算定	
計画建物用途：	公民館及び体育館
敷地面積：	2806.40㎡
用途地域：	第2種中高層住居専用地域
緑化基準面積：	敷地面積×10%=280.64㎡
必要植栽本数：	高木29本、中木57本、低木281本
植栽本数算定条件：	高木：緑化基準面積10㎡当たり1本以上 中木：緑化基準面積5㎡当たり1本以上 低木：緑化基準面積1㎡当たり1本以上
植栽分類基準：	高木：植栽時2.0m以上、成木時3.5m以上 中木：植栽時1.0m以上、成木時2.0m以上 低木：高木・中木以外の樹木で、植栽時0.3m以上

緑化面積・植栽本数算定							
緑地	記号	樹種	寸法(m)			本数	備考
			H	C	W		
A 緑化面積：16.62㎡							
高木							
中木	㊦	トヤマツツジ(白)	1.0	-	0.2	2	常緑
	㊧	ヤマツツジ	1.0	-	0.5	1	常緑
低木	㊨	クルメツツジ	0.3	-	0.25	32	2株/㎡
B 緑化面積：45.05㎡							
高木							
中木	㊦	アオキ	1.0	-	0.7	4	常緑
	㊧	ヤマツツジ	1.0	-	0.5	4	常緑
低木	㊨	クルメツツジ	0.3	-	0.25	90	2株/㎡
C 緑化面積：16.87㎡							
高木							
中木	㊦	アオキ	1.0	-	0.7	3	常緑
	㊧	ヤマツツジ	1.0	-	0.5	2	常緑
低木	㊨	クルメツツジ	0.3	-	0.25	32	2株/㎡
D 緑化面積：81.27㎡							
高木	㊩	ソヨゴ	2.0	-	0.6	7	常緑
	㊪	サザンカ	2.0	-	0.5	3	常緑
中木	㊦	アオキ	1.0	-	0.7	7	常緑
	㊧	ヤマツツジ	1.0	-	0.5	4	常緑
	㊦	トヤマツツジ(白)	1.0	-	0.2	3	常緑
低木	㊨	クルメツツジ	0.3	-	0.25	162	2株/㎡
E 緑化面積：109.68㎡							
高木	㊫	ハナミズキ(赤)	2.0	-	0.5	2	落葉
	㊪	サザンカ	2.0	-	0.5	2	常緑
	㊩	ソヨゴ	2.0	-	0.6	2	常緑
中木	㊭	マサキ	1.0	-	0.3	25	常緑
低木	㊨	ヒュウガミズキ	0.5	-	0.3	208	2株/㎡
F 緑化面積：2.55㎡							
高木	㊪	サザンカ	2.5	-	0.7	1	常緑
中木							
低木	㊨	クルメツツジ	0.3	-	0.25	5	2株/㎡
G 緑化面積：19.03㎡							
高木	㊩	ソヨゴ	2.0	-	0.6	2	常緑
	㊪	サザンカ	2.5	-	0.7	1	常緑
	㊫	ハナミズキ(赤)	2.0	-	0.5	1	落葉
中木	㊦	トヤマツツジ(白)	1.0	-	0.2	3	常緑
低木	㊨	ヒュウガミズキ	0.5	-	0.3	38	2株/㎡

■ 高木・低木の本数換算	
低木 100本	⇒ 高木 10本 に本数換算

■ 緑化面積・植栽本数合計		
緑化面積合計：291.07㎡(A+B+C+D+E+F+G) > 280.64㎡(緑化基準面積)		
植栽本数 合計	高木	31 (=21+10) 本 ≥ 29本
	中木	58本 ≥ 57本
	低木	467 (=567-100) 本 ≥ 381本

舗装(1) カーアスファルト舗装

1/10

舗装(2) 真空コンクリート舗装

1/10

舗装(3) 透水性アスファルト舗装

1/10

舗装(4) インターロッキングブロック舗装

1/10

舗装(5) コンクリート金ゴテ仕上(設備・倉庫基礎)

1/10

舗装(6) 玉砂利舗装

1/10

設備基礎

1/20

歩車道境界ブロックA

1/10

歩車道境界ブロックB

1/10

車止めブロック

1/10

ドラフティング・イント、車止め 詳細図

1/50

駐輪場

1/50

車いす駐車名称表示

1/30

雨水樹(1)

1/20

雨水樹(2)

1/20

雨水樹(3)

1/20

浸透樹

1/20

U字型側溝(1)

1/20

U字型側溝(2)

1/20

雨水排水管(暗渠)

1/20

集水樹蓋

1/20

チェンゲート(上下式バリアフリータイプ)

1/20

溝ポール

1/40

カーブミラー

1/40

二脚鳥居支柱

1/30

視覚障害者用床点字ブロック

1/20

意匠設計

1/20

構造設計

1/20

一級建築士事務所

東京都登録第4539号

株式会社 楠山設計

東京都千代田区神田小川町3-20

意匠設計

一級建築士登録第 301497 号

高橋 徹

構造設計

一級建築士登録第 271669 号

構造設計一級建築士登録第 6676 号

飯屋 園 耕 一

DATE

2025.03.31

決裁印

川口市

7.5.12

建築課

TITLE

根岸公民館改築工事

SUBTITLE

外構詳細図(1)

APPROVE BY

CHECKED BY

DRAWN BY

SCALE

A1: 各種

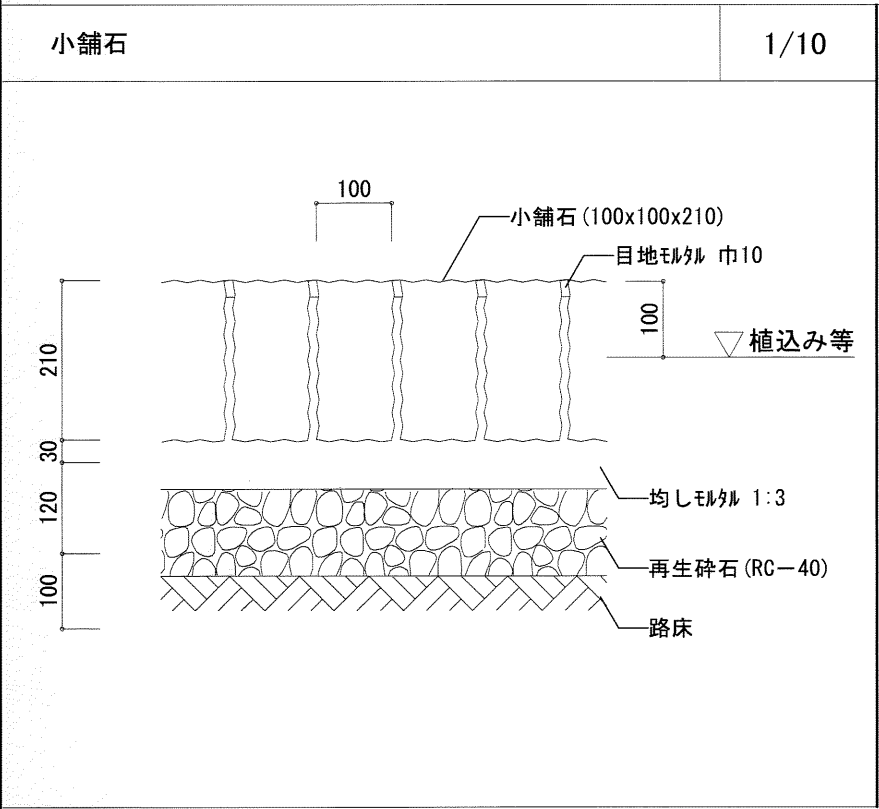
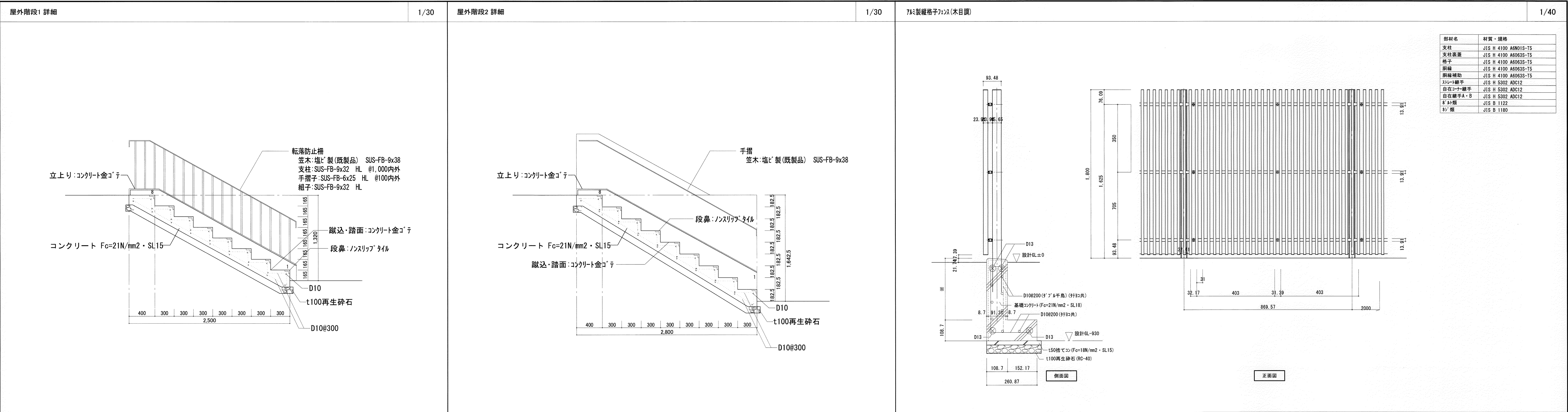
A3: 各種

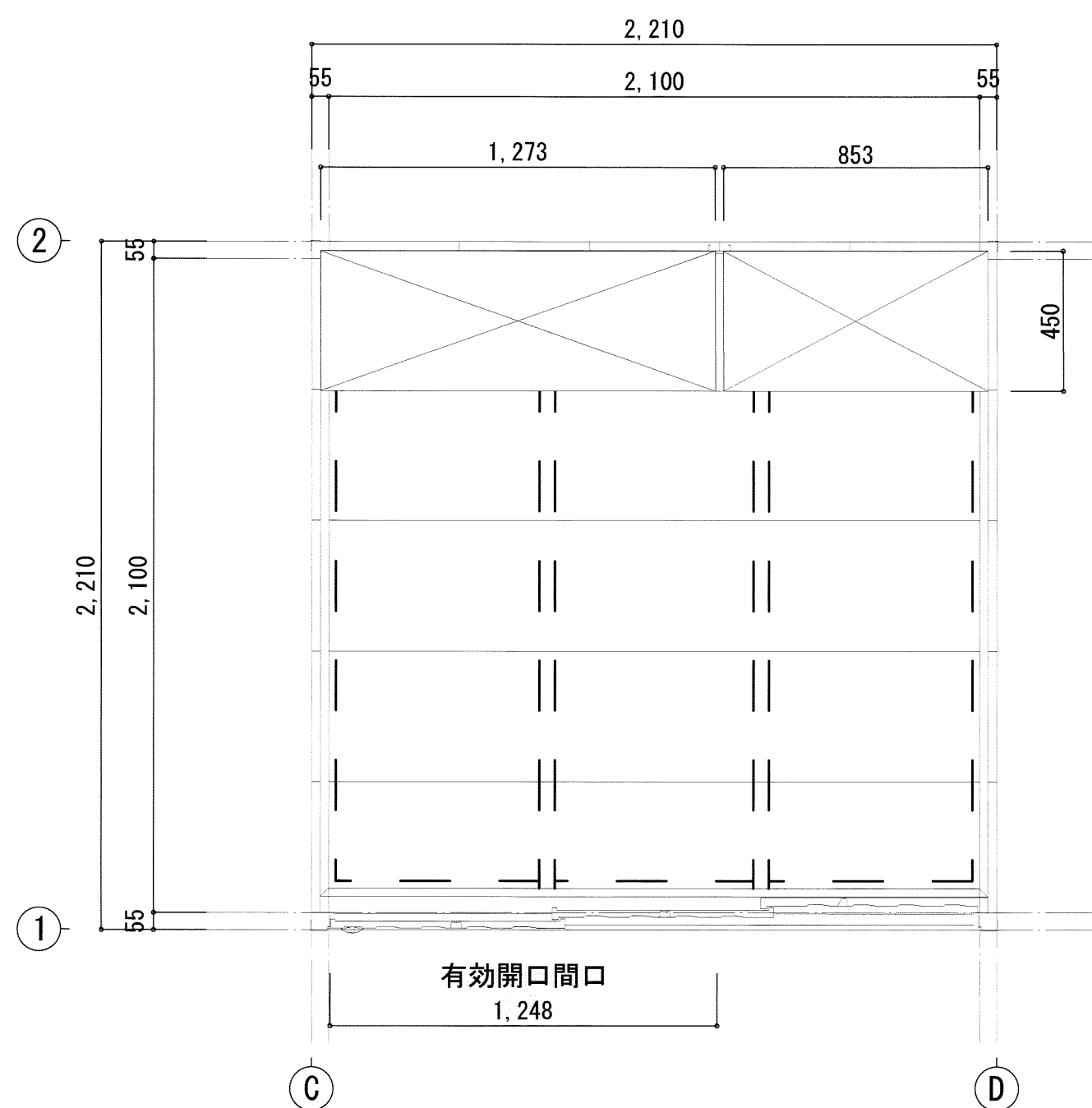
DRAWN NO.

設計図

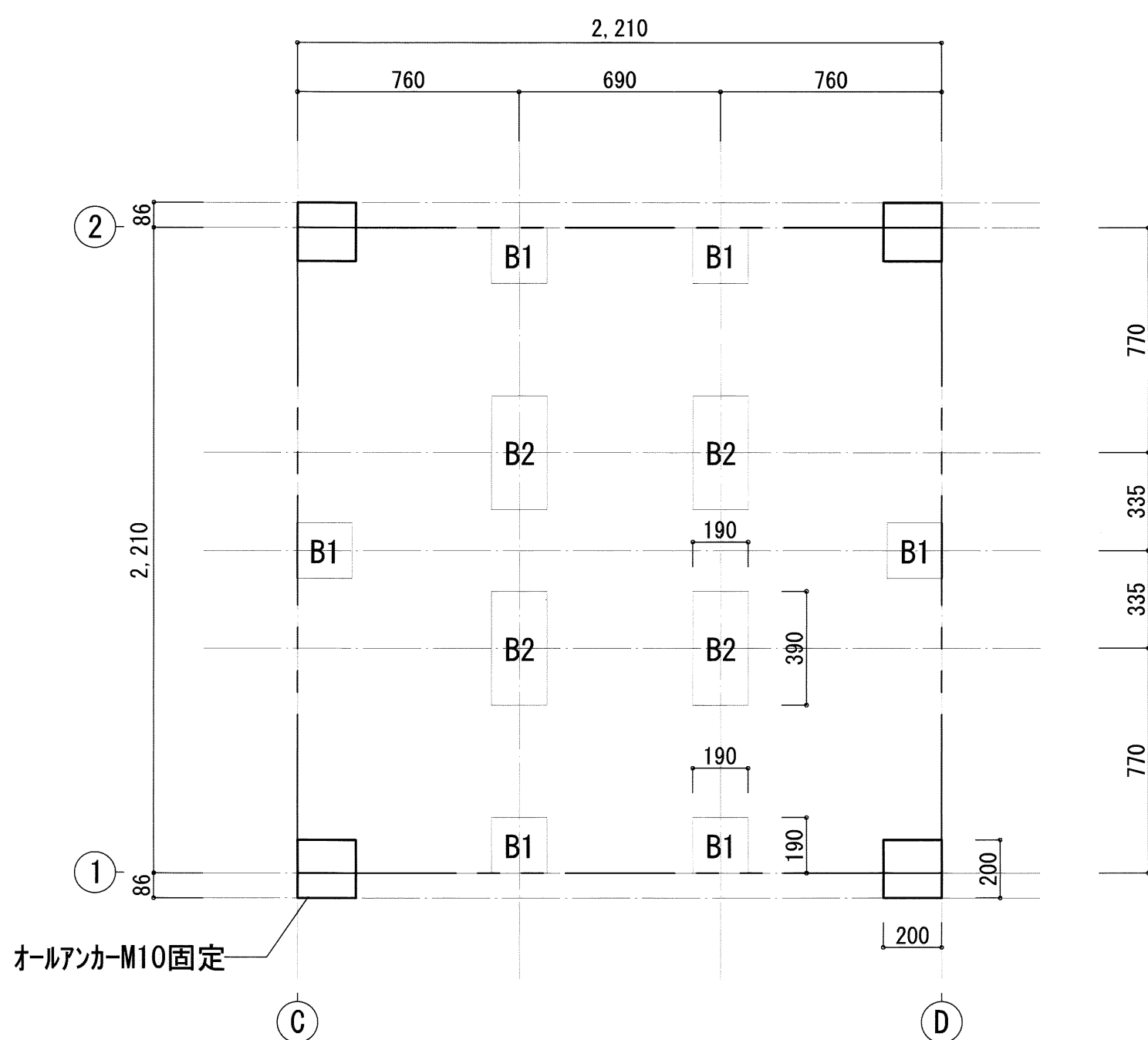
意匠

A - 204

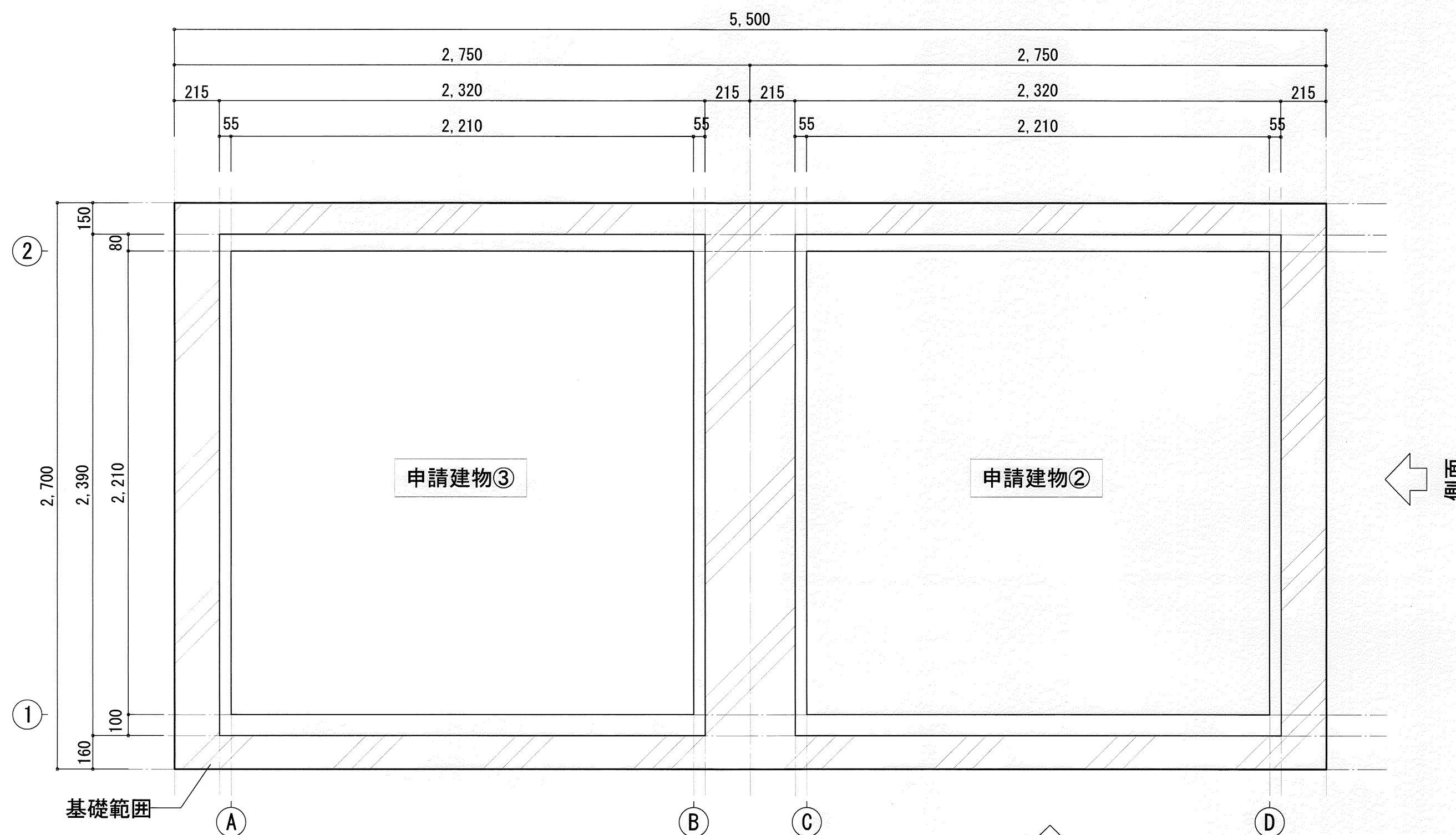




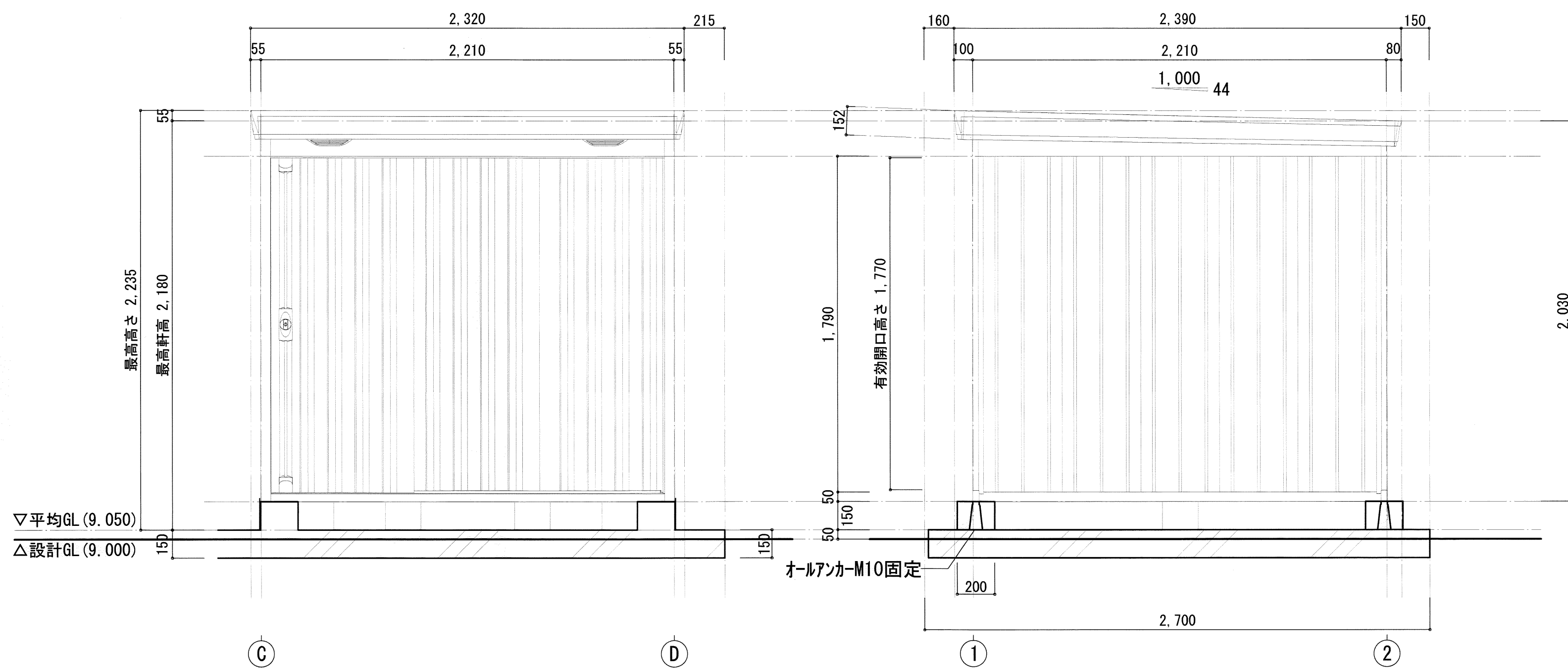
平面図



基礎図



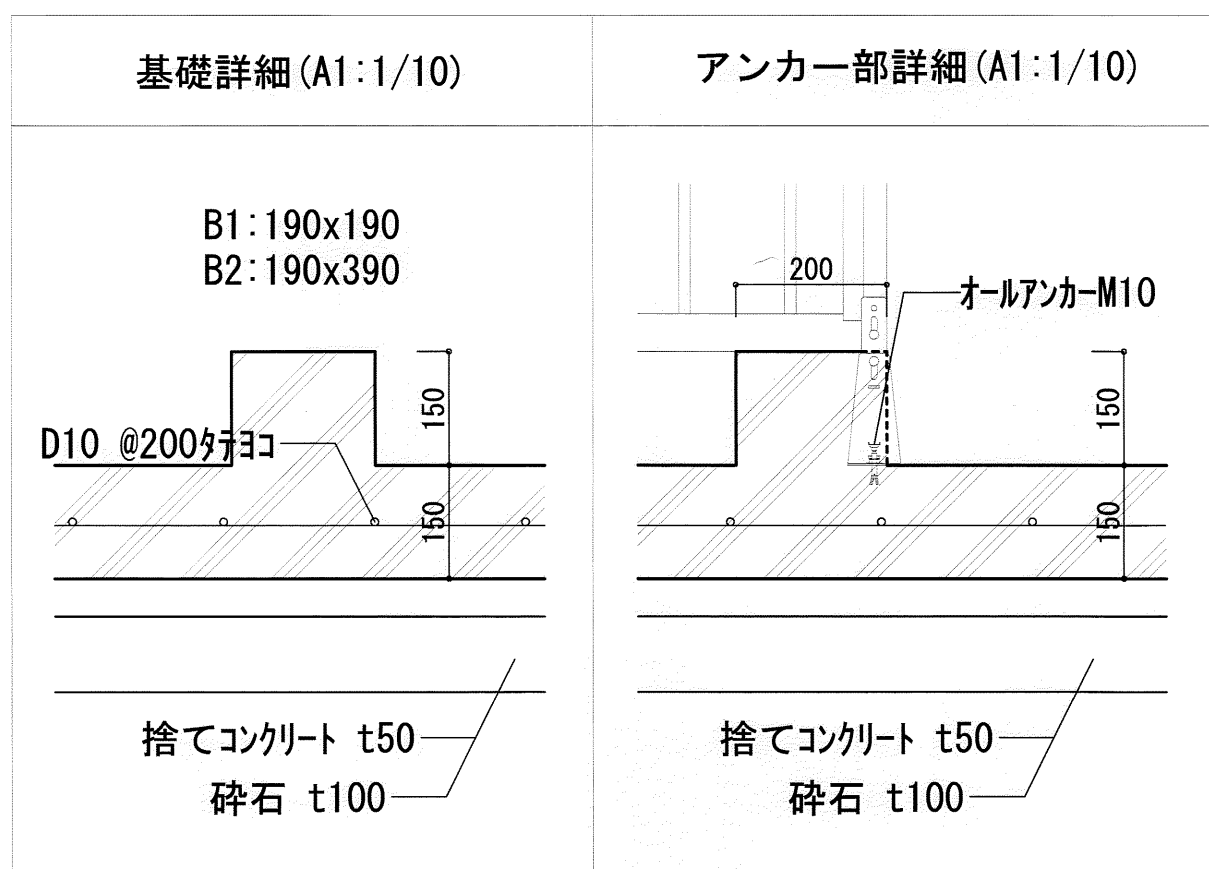
配置図



正面図

側面図

■ 基礎詳細図



■ 建物概要 ※申請建物②、③は同等のものとする。

建物用途	倉庫業を営まない倉庫 (08520)		
設計GL	9.000 (BM+4.178)	構造	鉄骨造
平均GL	9.050	基礎	直接基礎
建築面積	4.88㎡		
延床面積	4.88㎡		

■ 仕上表

部位	仕上		
屋根	アルミニウム合金メッキ鋼板		
壁	溶融亜鉛メッキ鋼板		
扉	溶融亜鉛メッキ鋼板		
床	溶融亜鉛メッキ鋼板		
基礎	コンクリート金ゴテ押え		

一級建築士事務所 東京都登録第4539号

株式会社 楠山設計
東京都千代田区神田小川町3-20

意匠設計

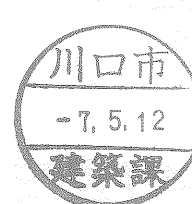
一級建築士登録第 301497 号
高橋 徹

構造設計

一級建築士登録第 271669 号
構造設計一級建築士登録第 6676 号
飯屋 園 耕 一

DATE
2025.03.30

決
裁
印



TITLE
根岸公民館改築工事

SUBTITLE
倉庫詳細図

APPROVE BY

CHECKED BY

DRAWN BY

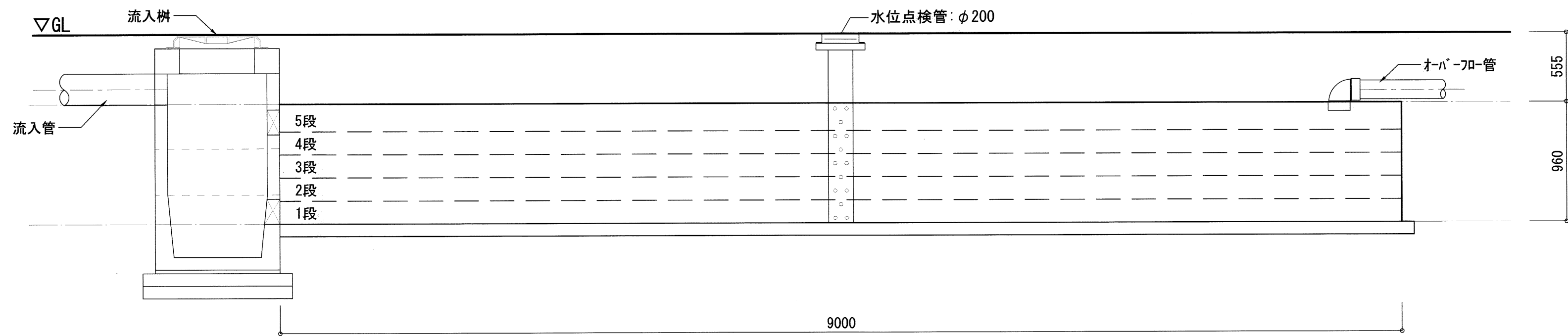
SCALE
A1: 1/20
A3: 1/40

DRAWN NO.

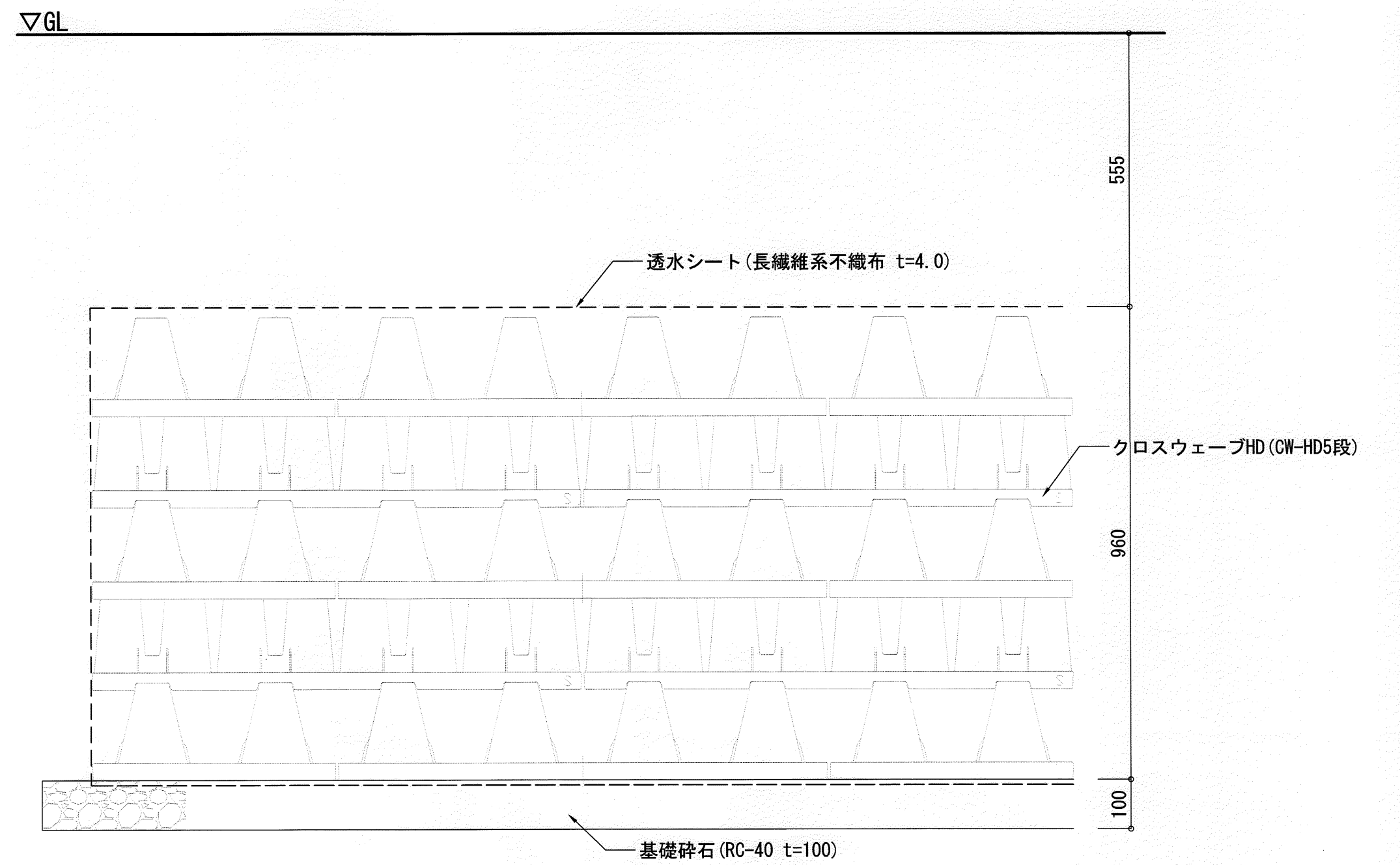
設計図 意匠 A - 206



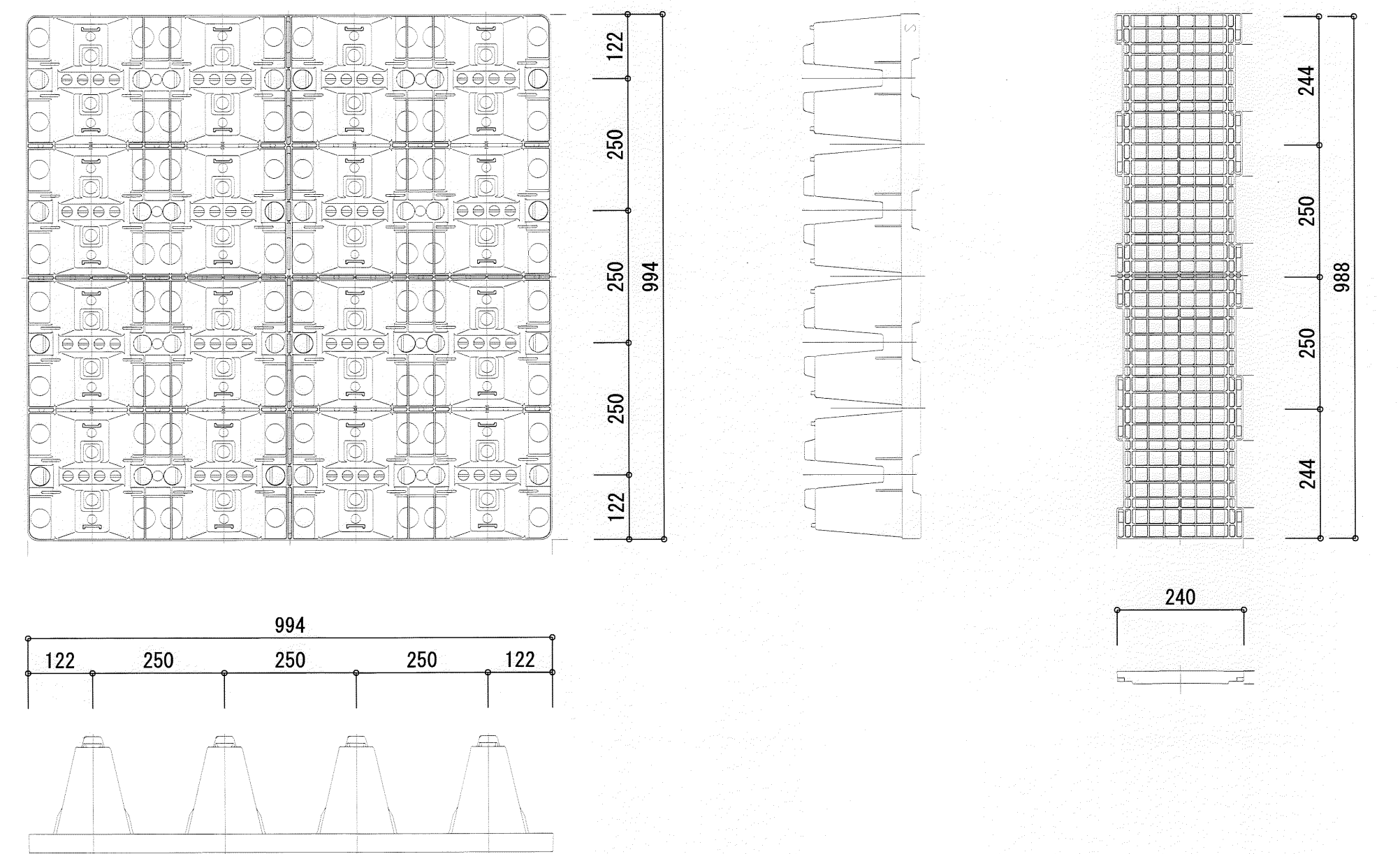
平面図 S=1:30



断面図 S=1:30



断面詳細図 S=1:10



部分詳細図 S=1:10

■ 貯留量算定式

雨水浸透貯留量 (m³) = 体積 × 0.95 (空隙率)
= 6,000 × 9,000 × 0.960 × 0.95
= 49,248 (m³)

■ 注意事項

- ・製品毎の適用範囲内の荷重条件を遵守してください。
- ・建築物からの荷重の影響する範囲には設置しないでください。
- ・貯留槽は地下水位から離して設置を計画してください。
- ・貯留槽上部でのクレーン作業やシートパイル引き抜き作業はしないでください。
- ・貯留槽の組み立て完了後できるだけ早く、埋戻しをしてください。
- また、外周部の埋戻しは偏荷重とならないように四辺均等に埋め戻してください。
- ・製品は可燃物ですので、保管・施工ともに注意してください。
- ・安全に十分注意して施工を行ってください。